

事前の備え

地下施設の浸水対策

大雨時に浸水する危険がある地下施設や地下駐車場には、止水板・土のう・排水ポンプなどを整備し、日頃から点検を心がけましょう。



側溝や雨水ますの清掃

道路沿いの側溝や雨水ますが詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃からの清掃にご協力をお願いします。



洪水時の注意点

避難の呼びかけに注意

危険がせまったときには、防災行政無線や広報車、メール等で避難の呼びかけを行います。呼びかけがあった場合には、速やかに避難してください。外出が危険なときは、家の中で少しでも安全な場所に移動してください。



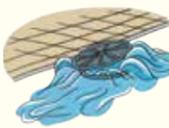
地下施設への浸水に注意

地上が冠水すると、地下施設へ水が一気に流れ込みます。水の圧力で階段をのぼることができなくなります。



マンホールのふたに注意

降雨量が多くなるとマンホールのふたが外れることがあります。また、道路が冠水すると水面下にかくれた水路や側溝にも注意が必要です。



正確な情報収集を

ラジオ・テレビ・インターネット等で最新の気象情報等に注意しましょう。雨の降り方や浸水の状況に注意し、危険を感じたら早めに行動することを心がけましょう。



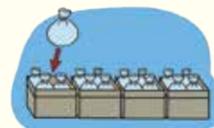
家庭でできる浸水対策

家庭にあるものを利用して浸水防止

簡易水のうを活用して



ごみ袋を2重にして中に半分程度水を入れ、袋の口をしぼると簡易水のうが出来ます。



ダンボール等に入れると持ち運びに便利で、設置も簡単です。

プランターやポリタンクを活用

土を入れたプランターや水を入れたポリタンクを並べてレジャーシートで包み、浸水を防ぎます。



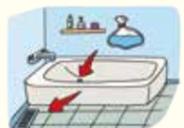
止水板を活用して

水のうやポリタンクを、長めの板等と組み合わせ利用して浸水を防ぎます。



排水口からの浸水防止

水のうを利用して排水口からの浸水を防止する方法



風呂場の排水口からの逆流防止



洗濯機の排水口からの逆流防止



トイレの排水口からの逆流防止

洪水予報が発表されたら

大雨により、野川、仙川では、急に水位が上昇し、短時間で河川が氾濫するおそれがあります。雨が降ってきたら河川に近づかず、洪水予報が発表されたら、速やかに身の安全を確保してください。

- 家の二階など高い所への避難
- 出入り口などへの土のう積み
- ご近所同士の声かけ



自主避難所について

「自主避難所」とは、地震の際や、台風や大雨による避難情報を出した際に市が開設する「避難所（市立小・中学校14校）」とは異なり、市民の皆さんの問合せ状況等を考慮の上、事前の避難を希望される方を対象に、一時的に開設する避難所です。

自主避難所は、すべての避難所で開設されるわけではありません。また、自主避難所へは、無理に避難する必要はありません。自主避難所までの避難途中及び帰宅途中の安全確保については、避難される方の責任において対応してください。

自主避難所の利用に関するお願い

- (1) 食料品・日用品等の提供はしませんので、あらかじめ各自で1日分の食料・飲料水・着替え・衛生用品・毛布等、避難に最低限の必要品を準備の上、避難所にお越しください。また、避難所内は禁煙とし、酒類の持込みは固くお断りします。
- (2) 車での来所はできません。
- (3) 避難者は、退所時も含めて必ず所定の避難者名簿に必要事項をご記入ください。
- (4) 指定した部屋とトイレ等のみの使用とし、備え付けの物品等には手を触れないでください。また、発生したごみ等は各自で持ち帰り、使用した場所をできる限り清掃してください。

- (5) 避難情報を発令し、高齢者や障害のある方等が避難された場合は、事前に自主避難をされている健康な方に場所の移動をお願いすることがあります。
- (6) 避難所運営職員の指示を守り、疑問や不明な点は職員にお尋ねください。
以上のことをお守りいただき、他人の迷惑にならないよう、お互いに譲り合ってください。



ペットの同行避難について

- (1) 避難所・自主避難所へ避難する際は、ペットは同行避難が原則となります。
- (2) 飼い主の居住スペースとペットのスペースは別の場所になります。
- (3) 必ずケージ等に入れて避難してください。
- (4) ペットを入れたケージは避難所の所定の場所に設置してください。

- (5) ペットの管理（餌や排泄物の処理等）は飼い主が責任を持って行ってください。

